

JSCR Newsletter



日本糖質学会会報
JSCR Newsletter published by
The Japanese Society of Carbohydrate Research

平成 23 年度（第 14 回）日本糖質学会奨励賞 受賞者決定

日本糖質学会授賞選考委員会 委員長 古川 鋼 一
副委員長 梶原 康 宏

本年度第 14 回日本糖質学会奨励賞が決定しましたのでお知らせします。

糖質学会会員の皆様から多数の優れた候補者の推薦をいただきありがとうございます。選考委員会の厳正な審査を経て、理事会にて下記の 2 名の方を受賞者として決定致しました。受賞者には心からお祝いを申し上げますとともに、今後の益々のご活躍を期待いたします。

なお、授賞式および受賞講演を本年 7 月 11 日に開催される日本糖質学会年会にて行います。

奨励賞

梶谷内 晶 (産業技術総合研究所・糖鎖医工学研究センター)

糖転移酵素遺伝子の単離と機能解析

～β1,3-結合糖転移酵素ファミリーのクローニングと解析を中心に～

花島 慎弥 (理化学研究所 基幹研究所)

効率的シアリル化反応を基盤とした糖鎖の合成と展開

(敬称略、50 音順)

第 14 回ポスター賞について

日本糖質学会授賞選考委員会 委員長 古川 鋼 一
副委員長 梶原 康 宏

恒例により、第 30 回日本糖質学会年会において発表されたポスターの中から、第 14 回日本糖質学会ポスター賞の選考を行います。授賞対象はファーストオーサーで本会会員、年齢 35 才以下（平成 23 年 7 月 1 日現在）の方です。授賞対象となるポスターにはその旨を示すマークが事務局により貼付される予定です。若手糖質研究者の積極的な参加をお待ちしております。

CONTENTS

■平成 23 年度（第 14 回）日本糖質学会奨励賞 受賞者決定	古川鋼一・梶原康宏◎1	■事務局報告	
■第 14 回ポスター賞について	古川鋼一・梶原康宏◎1	理事会議事録	◎3
■平成 23 年度通常総会開催のお知らせ	稲津敏行◎2	評議員・名誉会員・顧問・維持会員	◎4
■TIGG の「日本糖質学会 30 周年記念」特集号を特価販売いたします	◎2	■学術集会	◎6
■第 30 回日本糖質学会年会 特別講演演者プロフィール	◎3	■第 30 回日本糖質学会年会プログラム	◎7
		シンポジウム	◎8
		口頭発表	◎8
		ポスター発表	◎13

平成 23 年度通常総会開催のお知らせ

会 員 各 位

日本糖質学会
会長 稲 津 敏 行

平成 23 年度通常総会を下記の要領で開催いたします。
万障お繰り合わせの上、ご参集くださるようお願い申し上げます。

記

- 日 時：平成 23 年 7 月 11 日（月）13：00～13：30
会 場：長岡リリックホール（シアターホール）
次 第：
1. 平成 22 年度事業報告
2. 平成 22 年度収支決算
3. 奨励賞授与、永年会員推戴等
4. 新評議員・新理事の承認、役割分担
5. 平成 23 年度事業計画、予算案提案
6. その他

お願い：同時に添付しました出欠状により総会への出欠の旨を **6 月 30 日まで**にご連絡下さい。

なお、当日ご欠席の場合は、委任状欄に署名の上 FAX にてご返信下さい。代理人の記載がない場合は、会長に議決権を委任されたものとして取り扱わせていただきます。

TIGG の「日本糖質学会 30 周年記念」特集号を特価販売いたします

TIGG は糖質科学、糖質工学の最新のトピックを日英 2 か国語で発信するバイリンガルジャーナルです。FCCA (Forum:Carbohydrates Coming of Age) が日本糖質学会との共同編集でオンラインと冊子体両方で発行しています。(購読は <http://www.gak.jp/FCCA/> をご覧ください)

この度、この TIGG の「日本糖質学会 30 周年記念」特集号が発行されました。下記目次内容をご覧ください。日本糖質学会では今回、記念すべき特集号を TIGG を購読されていない会員の皆様にも特別価格(1,000 円 + 送料 250 円)で頒布することにいたしました。昨年開催されました ICS2010 の会場にてすでに販売いたし、ご好評を賜りました。

引き続きご希望の会員の皆様には郵送にてお送りいたしますので、冊数、送付先住所を明記のうえ事務局 (FAX:045-309-9864 または E-メール：jscr@gak.jp) までお申し込みください。請求書同封のうえ郵送いたします。

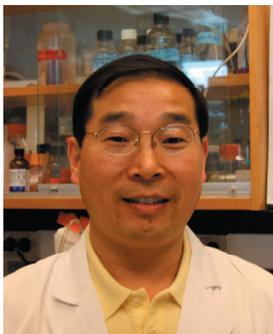
TIGG 「日本糖質学会 30 周年記念」特集号 目次

- 「日本糖質学会 30 周年記念」特集号によせて 鈴木明身、木曾 真、稲津敏行
- ミニレビュー
- 病原体と宿主の戦い：糖の策略 Y. C. Lee
- 自然免疫系を始動するバクテリア複合糖質の合成と機能研究 楠本正一
- 糖質化学の裏庭に散歩して 伊藤幸成
- レクチンによる内因性リガンドの認識：
血清マンナン結合タンパク質と腫瘍関連糖鎖エピトープの相互作用 川寄伸子、川寄敏祐
- 糖鎖生物学から先天性筋ジストロフィー研究への道 遠藤玉夫
- シアリダーゼとその機能 宮城妙子

第 30 回日本糖質学会年会 特別講演者のプロフィール

巨 同忠 (Ju Tongzhong) 先生

世界の潮流を眺め、本年会では「糖鎖機能解明のブレークスルーを求めて」をテーマに掲げました。こうした観点で、数年前からその研究に注目していた米国エモリー大学医学部の巨同忠先生を特別講演にお招きしました。巨先生は中国生まれで、1986年に青島医学院から医学博士を、さらに1994年には復旦大学医学部(旧上海医科大学)の生化学教室からPh.D.を取得されました。その後巨先生は米国に渡り、オクラホマ大学健康科学センターのR. D. Cummings教授とW. M. Canfield教授の研究室で博士研究員(1997-1999)さらに主任研究員(2002-2006)として研究に従事し、ラット肝臓からコア1 β -1,3-ガラクトース転移酵素(T-合成酵素)を精製し、続いてそのcDNAをヒトや他の動物種からクローニングをすることに成功しました。ご存知のようにT-合成酵素はムチ



ン合成経路の中で鍵となる酵素であり、ペプチド中のGalNAc α 1 \rightarrow Ser/Thr (Tn抗原)にガラクトースを付加し、Gal β 1 \rightarrow 3GalNAc α 1 \rightarrow Ser/Thr (T抗原)を動物細胞の糖タンパク質に作り出します。巨先生はT-合成酵素を中心にO-型糖鎖の生合成の制御機構について研究を進め、T-合成酵素が折り畳まれ活性を持ったペプチドとなるためにはCosmcという特異なシャペロンタンパク質が必要であることを発見しました。この研究は糖鎖生物学における画期的な発見として、ボスのR. D. Cummings教授が2008年にK. Meyer賞を受賞した時にも引用されています。さらにこの研究は、ヒトの癌や自己免疫疾患のTn症候群、イムノグロブリンA腎症でなぜ異常に高い値のTn抗原やそのシアリル化されたSTn抗原が出現するかを理解する上で、大きな貢献をしてきました。2006年に巨先生は米国ジョージア州アトランタにあるエモリー大学医学部生化学教室にassistant professorとして異動し、NIHやアメリカ癌研究会から研究費のサポートを得て、上記の課題をモデル動物などを用いて分子レベルで研究を展開しています。

事務局報告

日本糖質学会平成22年度第2回理事会議事録

日時:2010年11月6日(土)12時00分~14時30分

場所:学士会館(神保町)レストラン・ラタン

出席者:伊東 信、伊藤幸成、稲津敏行、小川温子、梶原康

宏、木曾 眞、北島 健、深瀬浩一、古川鋼一

欠席者:遠藤玉夫、隅田泰生、山本憲二

議題

報告事項

1. 前回理事会(2010年7月31日)の議事録を承認した。
2. 平成22年度総会(2010年8月1日)の議事録を確認した。
3. 伊藤理事よりICS2010は参加者919名(国内515名)、口頭発表90題、ポスター発表528題で盛会裡に終えられたことが報告され、あわせて学会からの運営協力に対し謝意が述べられた。
4. 古川清第30回年会世話人より送られた準備状況の説明資料を確認した。
5. 小川理事より男女共同参画学協会連絡会の第8回シン

ポジウム(10/7)につき報告があり、当日配付資料などが回覧された。

6. 小川理事よりFCCAからのTIGGの糖質学会特集号の糖質学会の負担分請求について説明があり、予算内であったのでこれを承認したことが報告された。

審議事項

1. 古川理事より第14回奨励賞候補者募集についての説明がありこれを了承した。
2. 北島理事よりNewsletter Vol.14, No.2は、巻頭言、ICS報告、奨励賞募集、年会案内、事務局報告、訃報、学会見聞記など掲載すべく編集が進められているとの報告があり、12月末に発行することとした。なお、今回より電子メールによる配付を開始することを確認した。
3. 情報発信(ホームページ改善、メール発信)について、北島理事より、さらに遠藤、小川、隅田の各理事を加えたワーキング・グループで検討をすすめたいとの提案があり、これを了承した。
4. 年会世話人の便宜をはかるための年会申し送りファイルを作成することとした。

第30回日本糖質学会年会プログラム

主催：日本糖質学会

共催：日本生化学会、日本分子生物学会、日本農芸化学会、日本薬学会、日本基礎老化学会、日本化学会、日本植物生理学会、日本生物物理学会、日本蛋白質科学会、日本栄養・食糧学会、日本生物工学会、日本応用糖質学会、日本食品科学工学会、繊維学会

協賛：有機合成化学協会、日本膜学会

後援：日本癌学会

会期：平成23年7月11日(月)～13日(水)

会場：長岡リリックホールとハイブ長岡(長岡市千秋3丁目)

一般講演：口頭発表 A/B・講演 20分、討論 5分、計 25分；口頭発表 a/b・講演 12分、討論 3分、計 15分

第1日 7月11日(月)

シアターホール(長岡リリックホール)

総会：13:00～13:30

授賞式：13:30～13:40

奨励賞受賞者講演

座長：遠藤玉夫、梶原康宏

平成22年度(第13回)受賞者

13:40～14:00 糖鎖生合成機構の解析とその異常による疾患に関する研究

萬谷博(東京都健康長寿医療センター研究所老化機構研究チーム)

14:00～14:20 N-結合型糖鎖の実用的合成手法と生体内イメージング技術の開拓

田中克典(大阪大学大学院理学研究科)

平成23年度(第14回)受賞者

14:20～14:40 糖転移酵素遺伝子の単離と機能解析～ β 1,3-結合糖転移酵素ファミリーのクローニングと機能解析を中心に～

梅谷内晶(産業技術総合研究所・糖鎖医工学研究センター)

14:40～15:00 効率的シアリル化反応を基盤とした糖鎖の合成と展開

花島慎弥(理化学研究所・基幹研究所・糖鎖構造生物学研究チーム)

第2日 7月12日(火)

シアターホール(長岡リリックホール)

シンポジウム1：糖鎖機能解明のブレークスルーを求めて－異分野との融合

座長：永井克孝(理化学研究所・基幹研究所)

11:20～11:50 蛍光プローブの精密設計による新たな生細胞応答観測の実現

浦野泰照(東京大学大学院医学系研究科・医用生体工学)

特別招待講演

座長：木幡陽(野口研究所)

11:50～12:40 Regulation of Mucin-type O-Glycan Biosynthesis through the Cosmc and T-synthase - Implication in Human Diseases

Tongzhong Ju(エモリー大学・医学部)

懇親会 18:00～20:00 長岡グランドホテル

第3日 7月13日(水)

シアターホール(長岡リリックホール)

シンポジウム2：糖鎖機能解明のブレークスルーを求めて

座長：松尾一郎 (群馬大学工学部)

13:00 ~ 13:30 糖鎖の精密合成と自己免疫疾患

石田秀治 (岐阜大学応用生物科学部)

座長：鯉坂勝美 (新潟薬科大学応用生命科学部)

13:30 ~ 14:00 糖鎖とナノバイオテクノロジーに基づくウイルス高感度検出法の開発

隅田泰生 (鹿児島大学大学院理工学研究科・(株)スティックスバイオテック)

口頭発表

第1日 7月11日(月)午前

シアターホール(長岡リリックホール)

座長：佐内豊、岡昌吾、北爪しのぶ

9:00 a1-01 膜マイクロドメイン画分からの簡便且つ迅速な界面活性剤除去法の確立

○樺山一哉¹、鈴木佑典²(¹東海大糖鎖研、²日大理工・物質応用化学)

9:15 a1-02 炎症下の血管内皮細胞における超長鎖脂肪酸含有グロボシドの合成と性質に関する研究

○奥田徹哉(産総研・生物プロセス研究部門)

9:30 A1-03 好中球特異的分化抗原ホスファチジルグルコシドによる好中球アポトーシス誘導機構

○岩淵和久^{1,2}、喜納勝成¹、中山仁志²、増田浩美¹、岩原知博¹、長塚靖子³、平林義雄³、小川秀興¹、森健二¹(¹順天堂大院医学研究科環境医学研究所、²同 医療看護学部・生化学、³理研・脳科学総合研究セ・神経膜機能)

9:55 A1-04 オルソミクソおよびパラミクソウイルスの感染におけるスルファチドの機能

○高橋忠伸¹、福島圭穰¹、川岸佐和子¹、鈴木康夫²、鈴木隆¹(¹静岡県大薬・生化学・グローバルCOE、²中部大・生命健康科学)

10:20 A1-05 ガングリオシド分子種特異的なCD4⁺T およびCD8⁺T 細胞機能の選択的制御

永福正和、○井ノ口仁一(東北薬大・分子生体膜研・機能病態分子)

10:45 A1-06 GPIの構造変化と積荷受容体p24によるGPIアンカー型タンパク質輸送の制御

○藤田盛久¹、佐藤匡史²、加藤雅樹²、山口芳樹²、前田裕輔¹、木下タロウ¹(¹阪大・微研、免疫学フロンティア、²理研・システム糖鎖・糖鎖構造生物学)

11:10 A1-07 細胞分裂を制御する線虫糖鎖遺伝子の同定

○野村一也¹、野村和子¹、林康広²、村田大輔¹、出嶋克史¹、水口惣平¹、安藤恵子³、中臺枝里子³、三谷昌平³、川崎ナナ⁴、伊藤さつき⁴、中島紫⁴、伊東信⁵、平林義雄⁶(¹九州大・理院・情報生物 & CREST, JST、²帝京大・薬、³東京女子医大、⁴国立衛研、⁵九州大・農院・生命機能、⁶理研脳科学セ)

けやきホール(ハイブ長岡)

座長：梶原康宏、戸谷希一郎、眞鍋史乃

9:00 b1-01 CF2連結型およびCH2連結型ガングリオシドGM3アナログの合成と活性評価

○加藤麻理依^{1,2}、平井剛¹、西澤絵里^{1,2}、大沼可奈¹、土屋綾子¹、秦敬子³、山口壹範³、森谷節子⁴、宮城妙子⁴、袖岡幹子^{1,2,5}(¹理研・基幹研、²東京医歯大院・生命情報、³宮城県立がんセンター研、⁴東北薬大、⁵ERATO, JST)

9:15 b1-02 トラフナマコ由来生理活性ガングリオシドHPG-7の全合成研究

○岩山祐己^{1,2}、安藤弘宗^{1,2}、石田秀治¹、木曾真^{1,2}(¹岐阜大・応用生物、²京都大・iCeMS)

9:30 b1-03 レクチンとの架橋複合体形成能を有する四価シアロ型糖鎖配糖体の機能設計

○尾形慎¹、矢野恵美²、村田健臣^{1,2}、朴龍洙¹、中村直樹³、松尾一郎³、碓氷泰市^{1,2}(¹静岡大・創科技院、²静岡大農、³群馬大院・工)

9:45 B1-04 ガングリオシド合成の新戦略の確立と応用

○安藤弘宗^{1,2}、今村彰宏^{1,2}、石田秀治¹、木曾真^{1,2}(¹岐阜大学・応用生物、²京都大学・iCeMS)

10:10 B1-05 蛍光標識シアロ酸誘導体の合成とPC-12D細胞内における挙動

○鈴木克彦^{1,2}、大黒周作^{1,2}、大竹敦子^{1,2}、小林まり子¹、伊藤幸成^{1,2}、蟹江治^{1,2}(JST ERATO、²理研・基幹研)

座長：川島博人、中山淳

- 10:35 B1-06 ユニークな乳癌細胞由来の MUC 1 糖鎖の微量分析に基づいた新たな乳癌マーカーの開発
○山下克子 (東工大イノベーション研究推進体)
- 11:00 B1-07 気道炎症の発症・増悪に関与する粘液中糖鎖の役割とその発現調節機構
○石橋祐二^{1,2,3}、井上義雄¹、谷口彰良² (東邦大薬、²(独) 物材研・生体センター、³ 杏林製薬株式会社創薬研)
- 11:25 b1-08 エイジングマーカーとしての糖鎖の可能性～血清糖鎖プロファイルの加齢に伴う変動～
○木下充弘¹、能登啓介¹、奥田茜¹、小南有加¹、早川堯夫²、掛樋一晃¹ (近畿大・薬、² 近畿大・薬総研)

第 1 日 7 月 11 日 (月) 午後

シアターホール (長岡リリックホール)

座長：東伸昭、福島慶子、荒田洋一郎

- 15:10 A2-01 内在性レクチンの結合に伴う MUC1 を介したシグナル伝達
○中田博、谷田周平、秋田薫、戸田宗豊 (京都産業大学総合生命科学部)
- 15:35 A2-02 高密度レクチンアレイを用いた幹細胞評価技術の開発
○館野浩章¹、豊田雅士²、斎藤秀⁴、小沼泰子³、伊藤弓弦³、比江森恵子¹、福村美帆子¹、中須麻子¹、阿久津英憲²、梅澤明弘²、堀本勝久⁴、浅島誠³、平林淳¹ (産総研・糖鎖医、² 成育医、³ 産総研・幹細胞、⁴ 産総研・生命情報)
- 16:00 A2-03 コレクチン CL-K1 の糖鎖特異性と機能解析
○大谷克城¹、吉崎隆之¹、森健一郎¹、本村亘¹、黄仁秀¹、吉田逸朗¹、金然旭¹、鈴木定彦²、若宮伸隆¹ (旭川医大・微生物、² 北大人獣共通感染症リサーチセ・国際疫学部門)
- 16:25 a2-04 ゼブラフィッシュ L 型レクチン lman2la は、体幹運動の発達に必要である
○浅川和秀^{1,2}、川上浩一^{1,2} (1 国立遺伝研、2 総合研究大学院大学 (SOKENDAI))
- 16:40 a2-05 ヒト大腸がん組織におけるマンナン結合タンパク質リガンドの発現
○野中元裕¹、今枝広丞²、河邊圭子¹、川崎伸子¹、安藤朗³、藤山佳秀²、谷徹⁴、川崎敏祐¹ (立命館大・糖鎖工学研究セ、² 滋賀医大・消化器内科、³ 滋賀医大・感染応答免疫調節部門、⁴ 滋賀医大・消化器外科)

座長：柿崎育子、灘中里美、山田修平

- 16:55 a2-06 コンドロイチン硫酸基合成酵素 KO マウスにおける機能解析
○武内恒成^{1,2}、比嘉進¹、北川裕之³、渡邊裕美¹、川野仁⁴、五十嵐道弘^{1,2} (新潟大院・医・生化学 2、² 新潟大・超域研究機構、³ 神戸薬科大・生化学、⁴ 都医学研・神経再生)
- 17:10 a2-07 ヒトヒアルロニダーゼ 4 とマウスヒアルロニダーゼ 4 の基質特異性の比較
宮崎杏、金岩知之、水本秀二、菅原一幸、○山田修平 (北大院・生命)
- 17:25 a2-08 神経軸索再生・分枝を阻害する新規プロテオグリカン受容体の同定
○坂元一真、門松健治 (名大院・医・生化学)
- 17:40 A2-09 コンドロイチン硫酸 / デルマタン硫酸の生合成に関わる酵素の欠損による骨・皮膚疾患
○水本秀二¹、三宅紀子²、古庄知己³、Mirjam H.H. van Rooij⁴、Beyhan Tuysuz⁵、Stefan Mundlos⁶、Stephen P. Robertson⁷、山田修平¹、松本直通²、菅原一幸¹ (北大院・生命、² 横浜市大・医、³ 信州大・医、⁴ VU Univ. Medical Center, The Netherlands、⁵ Cerrahpasa Medical School, Istanbul University, Turkey、⁶ Max Planck Institute for Molecular Genetics, Germany、⁷ Dunedin School of Medicine, Univ. of Otago, New Zealand)
- 18:05 A2-10 高硫酸化コンドロイチン硫酸の酵素合成と低硫酸単位を切断する新奇コンドロイチナーゼ
○杉浦信夫¹、塩入達政¹、伊藤浩美³、佐藤隆³、千葉美恵¹、瀬戸山由佳¹、成松久³、木全弘治²、渡辺秀人¹ (愛知医大・分医研、² 愛知医大・先端拠点、³ 産総研・糖鎖医セ)
- 18:30 A2-11 硫酸化糖鎖による形態形成因子 Wnt のシグナル伝達と拡散の調節機構
○灘中里美、柴谷健次、宮崎泰太、北川裕之 (神戸薬大・生化)

けやきホール (ハイブ長岡)

座長：蟹江治、北條裕信

- 15:10 B2-01 単一構造の糖鎖を有する糖タンパク質の新規合成法の開発と X 線結晶構造解析
○岡本亮¹、村上真淑¹、Kalyaneswar Mandal²、Michael Sawaya³、Todd O. Yeates³、Stephen B. H. Kent²、梶原康宏¹ (阪大院理、² The University of Chicago、³ University of California Los Angeles)

年会プログラム

- 15:35 B2-02 再構成糖鎖プロファイルを用いた小胞体ストレス関連疾患の解析
○戸谷希一郎¹、岩本将吾^{1,2}、磯山美穂¹、松尾一郎²、伊藤幸成^{3,4} (¹成蹊大・理工、²群馬大・工、³理研・基幹研、⁴ERATO-JST)
- 16:00 B2-03 ハイマンノース型糖鎖を有するミスフォールド-糖タンパク質の合成
○和泉雅之¹、牧村裕¹、Simone Dedola¹、瀬古玲¹、金森審子¹、伊藤幸成^{1,2}、梶原康宏^{1,3} (JST ERATO、²理研基幹研、³阪大院理)
- 座長：小川温子、金森審子、竹松弘
- 16:25 B2-04 精子受精能獲得の抑制因子様糖タンパク質 WGA16 の発見、同定および構造
○ガレノ・エステル¹、金澤尊^{1,2}、堀和紀^{1,2}、安江博³、佐藤ちひろ^{1,2}、北島健^{1,2} (¹名大・生物機能セ、²名大院・生命農学、³農業生物資源研・家畜ゲノム)
- 16:50 B2-05 低酸素誘導シリアル Tn 糖鎖抗原のがん転移促進メカニズム
○大坪和明¹、高松真二¹、奥山裕照²、黒澤努³、井上正宏²、谷口直之¹ (¹理研・システム糖鎖・疾患糖鎖・理研-産研アライアンス、²大阪成人病センター・生化学、³大阪大学・医・実験動物医学)
- 17:15 B2-06 ジストログリカンの新規リガンド分子ピカチュリンの結合解析と病態への関与
○金川基¹、大森義裕²、久我敦¹、遠藤玉夫³、古川貴久²、戸田達史¹ (¹神戸大院医学研究科、²大阪バイオサイエンス研、³都健康長寿医療センター研究所)
- 17:40 B2-07 N-アセチルグルコサミン転移酵素 III の発現調節と EMT における役割
顧建国 (東北薬大・分子生体膜研)
- 18:05 B2-08 ピロリ菌の持つコレステリル- α -グリコシド類の免疫学的機能
○伊藤有紀^{1,5}、Jose Luis Vela²、松村史子¹、星野瞳^{3,6}、Heeseob Lee^{1,7}、小林基弘³、Xingfeng Bao¹、Thomas Borén⁴、Rongsheng Jin¹、Peter H. Seeberger¹、中山 淳³、Mitchell Kronenberg²、福田穰¹ (¹サンフォード・バーナム研、²ラホヤ研、³信州大院・医、⁴ウメオ大、⁵(現所属)山口大・総科セ、⁶(現所属)国立長寿医療セ、⁷(現所属)釜山大)
- 18:30 b2-09 ブラインシュリンプ *Artemia franciscana* の中性糖脂質
○小島寿夫^{1,2,3}、樺山一哉¹、糸乗前²、伊藤将弘³ (¹東海大・糖鎖研、²滋賀大・教育・化学、³立命館大・生命科学・情報生物学)
- 18:45 b2-10 デングウイルス E タンパク質を標的とする低分子糖誘導体
○左一八¹、江良翔太¹、渡邊一平¹、池田潔²、森田公一³、鈴木隆¹ (¹静岡県大・薬・生化学、グローバル COE、²広国大・薬、³長崎大・熱医研)

第2日 7月12日(火)午前

けやきホール(ハイブ長岡)

座長：川崎ナナ、佐藤ちひろ

- 10:10 A3-01 がんで過剰発現する形質膜シアリダーゼ NEU3 の悪性化進展機構
○宮城妙子¹、和田正²、山口壹範²、秦敬子¹、森谷節子¹、塩崎一弘³、高橋耕太¹、山本晃司¹ (¹東北薬大・分生研・がん糖鎖制御、²宮城がんセ・研、³鹿児島大・水産)
- 10:35 a3-02 “スペインカゼ”インフルエンザウイルスシアリダーゼの low-pH 安定性
高橋忠伸¹、紅林佑希¹、池谷久美子¹、福島圭稜¹、河岡義裕²、鈴木康夫³、○鈴木隆¹ (¹静岡県大・薬・生化学・グローバル COE、²東大・医科研・ウイルス感染、³中部大・生命健康科学)
- 10:50 a3-03 哺乳類シアリダーゼの細胞外活性の同定とその分泌機構の解析
○住田瑞季^{1,2}、矢部宇一郎^{1,2}、宮城妙子³、Sadagopan Magesh^{4,5}、木曾真^{4,5}、北島健^{1,2}、佐藤ちひろ^{1,2} (¹名大院・生命農学、²名大・生物機能セ、³東北薬大・分子生体膜研、⁴岐阜大・応用生物、⁵京都大・iCeMS)

シアターホール(長岡リリックホール)

座長：正田晋一郎、水野真盛

- 10:10 b3-01 還元的条件下で進行する無保護糖の配糖化
○高木優香、石原正規、野口真人、正田晋一郎 (東北大院工・バイオ工学専攻)
- 10:25 b3-02 酸を触媒とした脱水縮合反応によるマンノオリゴ糖の効率的合成研究
○鯉坂勝美、矢倉美里、宮崎達雄 (新潟薬大・応生科)
- 10:40 b3-03 化学的手法を用いた希少糖アルドヘキソースの合成法
馳平加代¹、宮西伸光²、住吉渉²、平林淳²、○中北慎一¹ (¹香川大・総合生命・糖鎖機能、²香川大・総合生命・糖質バイオ)

- 10:55 b3-04 エンド開裂を経由するグリコシドの異性化反応における置換基効果
 ○眞鍋史乃¹、佐藤寛子²、Jürg, Hutter³、Teodoro Laino⁴、Hans P. Lüthi⁵、伊藤幸成¹⁶ (¹ 理研基幹研、² 国立情報学研究所、³ Institute of Physical Chemistry, University of Zurich、⁴ IBM Research - Zurich、⁵ Laboratory of Physical Chemistry, Swiss Federal Institute of Technology (ETH)、⁶ ERATO, JST)

第3日 7月13日(水)午前

シアターホール(長岡リリックホール)

座長：鈴木匡、天野純子、小栗秀

- 10:10 A4-01 コア1合成酵素の翻訳中に作用する分子シャペロン Cosmc
 ○成松由規¹、久保田智巳¹、古川早苗¹、下島美恵¹、岩崎裕子¹、戸澤讓²、立花宏一¹、成松久¹ (¹ 産総研糖鎖医セ、² 愛媛大・無細胞生命科学工学研究セ)
- 10:35 a4-02 レドックス制御を介した糖転移酵素 GnT-III による食能調節メカニズムの解析
 ○高松真二^{1,2}、大坪和明^{1,2}、谷口直之^{1,2} (¹ 阪大産研 理研一産研アライアンス・ラボ・疾患糖鎖、² 理研基幹研・システム糖鎖生物学・疾患糖鎖)
- 10:50 A4-03 フコイダンの機能性
 ○田幸正邦、照屋武志、玉城志博、小西照子 (琉球大・農・亜熱帯生資科)
- 11:15 a4-04 トランスジェニックカイコを用いたヒトカテプシン A の発現・精製・応用
 ○伊藤孝司¹⁴、西岡宗一郎¹⁴、小林 功²⁴、中北慎一³、辻大輔¹⁴、北尾聡¹、Rahman Md. Motiur¹、池戸駿介¹、瀬筒秀樹²⁴、田村俊樹²、平林淳³、町井博明²⁴ (¹ 徳島大院ヘルスバイオサイエンス研・創薬生命工学、² (独)農生研・遺伝子組換えカイコ研セ、³ 香川大学・総合生命科学研セ、⁴ アグリヘルス実用化研究促進 PT)
- 11:30 a4-05 鎖長の異なるラミナリオリゴ糖に対するグルカナナーゼ触媒ドメインの結合能
 田邊陽一¹、小道信孝¹、神谷成敏²、中村春木²、○織田昌幸¹ (¹ 京府大・院生命環境科学、² 阪大・蛋白研)
- 11:45 a4-06 新規加リン酸分解酵素、ニゲロースホスホリラーゼの発見
 ○仁平高則^{1,2}、中井博之^{1,3}、知久和寛¹、北岡本光¹ (¹ 農研機構・食総研、² 新潟大・農、³ 新潟大院・自然科学)

けやきホール(ハイブ長岡)

座長：安藤弘宗、石渡明弘

- 10:10 B4-01 ヘパラン硫酸部分構造ライブラリーの構築に向けた二糖ビルディングブロックの合成研究
 ○若尾雅広¹、斎藤彰寛¹、春山まみ²、大石 紘¹、松山奈央¹、出口弘史¹、馬渡 彩¹、隅田泰生^{1,2} (¹ 鹿児島大・院理工、² スティックスバイオテック)
- 10:35 b4-02 ホスファチジルイノシトールジマンノシド誘導体の合成とその機能評価
 ○大平脩一¹、田中浩士¹、砂川 誠²、小濱英康²、高橋孝志¹ (¹ 東工大、² 日本 BCG 製造株式会社)
- 10:50 b4-03 LOS/LPS の内部コア糖鎖合成に適した Kdo 誘導体合成
 ○一柳剛、福永真弓、田頭亮哉、山崎良平 (鳥取大農)
- 11:05 b4-04 α -グルコシダーゼ I 活性測定のための蛍光標識 6 糖 (Glc3Man3) の合成
 飯野健太¹、西河淳²、殿塚隆史²、伊藤幸成^{3,4}、○松尾一郎¹ (¹ 群馬大院工、² 東農工大農、³ 理研・基幹研、⁴ JST・ERATO)

座長：中北慎一、賀来華江

- 11:20 b4-05 植物糖転移酵素の同定に向けた膜タンパク質の効率的調製法の開発
 ○石水毅、安井一敏、上垣眞理、荒川隼至 (阪大・院理)
- 11:35 b4-06 アラビノガラクトサン-プロテイン糖鎖を分解するエンド-ガラクタナーゼ
 平田尚弘¹、出木雄太²、北澤仁成¹、高田遼平¹、小竹敬久¹、一ノ瀬仁美³、金子 哲³、石黒真希⁴、五十嵐圭日子⁴、鮫島正弘⁴、○円谷陽一¹ (¹ 埼玉大院・理工、² 埼玉大・理、³ 食総研、⁴ 東大院・農学生命科学)

第3日 7月13日(水)午後

シアターホール(長岡リリックホール)

座長：西河淳、東秀好、相川京子

- 14:10 A5-01 LacdiNAc 構造は LIF/STAT シグナルを制御し ES 細胞の自己再生に関わる
 佐々木紀彦、平野和巳、○西原祥子 (創価大・工・生命情報)
- 14:35 a5-02 Man2C1 の発現阻害はミトコンドリア依存性アポトーシスを誘導する
 ○王麗、鈴木匡 (理研・システム糖鎖生物学・糖鎖代謝学)
- 14:50 a5-03 Fut8 欠損マウスに認められた統合失調症様行動と脳内神経伝達物質バランスの変化
 ○福田友彦¹、橋本弘和¹、岡安夏実¹、亀山昭彦²、小野木弘志³、中川西修³、中澤孝浩⁴、伊左治知弥¹、

只野武³、成松久²、谷口直之⁵、顧建国¹ (¹ 東北薬大・薬・細胞制御、² 産総研・糖鎖工学、³ 東北薬大・薬・薬理、⁴ 東北薬大・薬・天然物化学、⁵ 理研・基幹研)

- 15:05 a5-04 狂犬病ウイルスワクチン接種後ギラン・バレー症候群の原因：脳ガングリオシドの混入
堺弘道、Faqeehah Mohamed Harun、山本直樹、○結城伸泰 (シンガポール国立大学)

座長：長束俊治、瀬古玲

- 15:20 a5-05 膵臓 α -アミラーゼの十二指腸糖タンパク質への糖鎖特異的結合は Glc 吸収を調節する
○伊達公恵¹、川崎ナナ²、橋井則貴²、楽娜¹、小川温子^{1,3} (¹ お茶大・院・人間文化創成科学、² 国立医薬品食品衛生研、³ お茶大・院・糖鎖センター)
- 15:35 a5-06 ER α -1,2 mannosidase I の糖蛋白質糖鎖に対する特異性の解析
○相川順一¹、松尾一郎²、伊藤幸成^{1,3} (¹ 理研・基幹研、² 群馬大院・工、³ ERATO・JST)
- 15:50 a5-07 ST6Gal-I の多分岐 N-型糖鎖に対する反応解析
○千葉靖典、高橋佳江、地神芳文、成松久 (産総研・糖鎖医工学)
- 16:05 a5-08 ヒトアネキシン A5 による血液凝固性調節の分子機構—ヘパリン結合ドメインの役割—
高屋祥子、南部聡子、○相川京子 (お茶大院人間文化創成科学研究科)
- 16:20 a5-09 ビメンチンの細胞外出現と N-アセチルグルコサミン結合活性に基づく役割の解明
○伊勢裕彦¹、小村健太²、佐藤孝雄²、後藤光昭³、赤池敏宏¹ (¹ 東工大フロンティア研究機構、² 東工大大学院生命理工、³ 有限会社セラジックス)

けやきホール(ハイブ長岡)

座長：畑中保丸、亀山昭彦、佐藤智典

- 14:10 b5-01 糖鎖プライマー法を用いた転移性癌細胞での発現糖鎖およびその機能の解析
○佐藤智典¹、王毅楠¹、古市悠¹、今野友輔¹、熊澤知祥¹、水野真盛²、山形達也³ (¹ 慶大理工、² 野口研、³ 瀋陽薬科大)
- 14:25 b5-02 Pradimicin A によるカルシウム依存的マンノース結合の固体 NMR 解析
○中川優¹、増田裕一²、土井崇嗣²、竹腰清乃理²、五十嵐康弘³、伊藤幸成^{1,4} (¹ 理研・基幹研、² 京大院理・化学、³ 富山県大・生工、⁴ JST・ERATO)
- 14:40 B5-03 ヘクリサム総苞片のキシランの調製とセルロースとの会合体形成
○東順一¹、松村由貴¹、坂本正弘¹、伊藤弘顕² (¹ 京大院・農、² 甲子園短大)
- 15:05 B5-04 分子マトリクス電気泳動(SMME)によるムチンの分析と親和電気泳動への展開
○松野裕樹、董偉傑、成松久、亀山昭彦 (産総研・糖鎖医セ)
- 15:30 B5-05 ビフィズス菌 GNB/LNB 経路関連酵素を利用した糖鎖工学
○北岡本光、西本完、井上公輔、知久和寛 (農研機構・食総研)

座長：山口芳樹、後藤 聡

- 15:55 b5-06 ブタ精子膜マイクロドメインに局在する糖タンパク質 WGA-gp の生理機能
○金澤尊^{1,2,3}、Waraporn Kasekarn²、堀和紀¹、土山智之¹、佐藤ちひろ^{1,2}、安江博⁴、北島健^{1,2,3} (¹ 名大院・生命農学、² 名大・生物機能セ、³ 名大・GCOE システム生命科学、⁴ 農業生物資源研・家畜ゲノム)
- 16:10 B5-07 細胞質 PNGase 依存的 ERAD の解析
○細見昭、平山弘人、鈴木匡 (理研・基幹研・糖鎖代謝学)
- 16:35 B5-08 ギャップ結合による GDP- フコスの供給は Notch の O- フコシル化に十分である
○松野健治 (東理大基礎工生物工)

ポスター発表

ポスター展示推奨日時：7月11日(月)13:00～7月13日(水)16:00

ポスター展示義務期間：7月12日(火) 8:30～7月13日(水)14:00

ポスター討論日時： 奇数番号 7月12日(火)8:30～10:00、偶数番号 7月13日(水)8:30～10:00

大展示ホール (ハイブ長岡)

- P-001 ザゼンソウレクチンの糖鎖特異性の解析
○小栗 秀¹、藤澤健人¹、館野浩章²、平林淳²、坂本光¹(¹東農大・生物生産、²産総研・糖鎖工医学)
- P-002 コレクチン CL-P1 のリガンド認識ドメインについての解析
○森健一郎¹、大谷克城¹、張成宰¹、金然旭¹、本村亘¹、黄仁秀¹、吉田逸朗¹、鈴木定彦²、若宮伸隆¹(¹旭川医大・微生物、²北大人獣共通感染症リサーチセンター・国際疫学部門)
- P-003 アカカンガルーの酸性ミルクオリゴ糖構造解析
○安樂辰郎¹、福田健二¹、Michael Messer²、浦島匡¹(¹帯畜大・畜産衛生、²シドニー大学)
- P-004 原猿類のミルクオリゴ糖構造解析
○Epi Taufik¹、Kenji Fukuda¹、Akitsugu Senda¹、Tadao Saito²、Olav Oftedal³、Tadasu Urashima¹(¹Graduate School of Animal and Food Hygiene, Obihiro University of Agriculture and Veterinary Medicine、²Graduate School of Agriculture, Tohoku University、³Smithsonian Environmental Research Center)
- P-005 疾患特異的エピトープ探索を指向した MUC1 糖ペプチドマイクロアレイの開発
○松下隆彦¹、高田渉²、比能洋¹、西村紳一郎¹(¹北大院先端生命、²住友ベークライト株式会社 S-バイオ事業部)
- P-006 セリン・スレオニンの翻訳後修飾の新規な解析法
○古川潤一、藤谷直樹、荒木香代、児玉耕太、篠原康郎(北大院・先端生命科学研究院 複合糖質機能化学)
- P-007 ルイス肺癌細胞表面上のコンドロイチン硫酸 E 構造の発現低下による転移抑制
渡邊基夫、水本秀二、山田修平、菅原一幸(北大院・生命)
- P-008 エビ頭部に由来するヘパラン硫酸の構造と生物活性
○羽磨紀城¹、陳建成¹、Ajaya Kumar Shetty¹、小林孝成¹、織田浩司²、清木興介²、Eunmi Kim³、木村享史³、菅原一幸¹、山田修平¹(¹北大院・生命、²マルハニチロホールディングス、³北大・人獣セ)
- P-009 深海底熱水活動域に棲息する共生微生物糖脂質と宿主生物血清中の N 結合型糖鎖の解析
○渡邊珠希、神藤彩加、寺沢亮、澤辺智雄、中川聡(北大院・水産)
- P-010 水溶液中における無保護糖の一段階チオピリジル化
○石原正規、吉田尚生、野口真人、田中知成、小林厚志、正田晋一郎(東北大院工)
- P-011 肺がんにおける形質膜シアリダーゼ NEU3 の過剰発現と EGFR シグナリング活性化
○秦敬子¹、森谷節子¹、和田正²、高橋耕太¹、山口壹範²、宮城妙子¹(¹東北薬大・分生研・がん糖鎖制御、²宮城県がんセ・研)
- P-012 ガングリオシドとコンドロイチン硫酸連続処理による B2 ブラジキニン受容体の不応化
○嶋 彩佳、東 秀好(東北薬大・分子生体膜研・生体膜情報)
- P-013 β-グルカン由来オリゴ糖の分岐構造解析
○長東俊治、橘亜希、長東優子(新潟大・理・生物)
- P-014 プレバイオティクスとして有用な新規機能性オリゴ糖の生産開発
○中井博之¹、Birte Svensson²(¹新潟大院自然科学研究科、²The Technical University of Denmark)
- P-015 DOI を原料としたカルバ-β-D-ガラクトースとカルバ-β-D-マンノースの合成
○館田尚家、宮崎達雄、狩野達也、有坂和也、鯉坂勝美(新潟薬大・応用生命科学)
- P-016 メチル α-D-アロピラノシド誘導体のエンド開裂を利用した炭素-炭素結合の構築
小島 勝、伊藤祐介、中村豊、武内征司(新潟薬科大・応用生命科学)
- P-017 3,6-ジデオキシ-3,6-イミノ糖誘導体の有機触媒としての機能評価
小島勝、安野喜明、中村豊、武内征司(新潟薬大・応用生命科学)
- P-018 ツバキキンカクチャワントケ子実体レクチンの遺伝子クローニング
○小川秀¹、綿文禎²、田崎裕二³、小栗秀²(¹長岡高専・化学生物、²東農大・生物生産、³長岡高専・物質工)
- P-019 ノロウイルスの血液型関連糖鎖抗原に対する結合特性
○植田源¹、小湊慶彦²、浅尾高行³、西村東洋⁴、Aksara Thongprachum⁵、牛島廣治⁶、古川清¹、矢澤伸^{3,4}
(¹長岡技科大・生物系、²群馬大・院・病態遺伝法医学、³群馬大・院・病態総合外科学、⁴大塚製薬徳島研究所、⁵東大・院・国際保健学、⁶日大・医・病態病理学)

- P-020 β -1,4-GalT V 欠損マウス胎児繊維芽細胞の細胞外基質との接着性
 ○熊谷忠弘、佐藤武史、古川清 (長岡技科大・生物系・糖鎖生命工学)
- P-021 転写因子 Sp1 の発現制御による N-型糖鎖修飾の変化と細胞運動能の低下
 ○佐藤武史、古川清 (長岡技科大・生物系・糖鎖生命工学)
- P-022 β -1,4-GalT V 遺伝子の発現抑制によるマウスメラノーマ細胞の増殖制御
 小林之人、白根克則、佐藤武史、村田亨之、○古川清 (長岡技科大・生物系・糖鎖生命工学)
- P-023 プラナリアにおける糖結合タンパク質の探索
 ○小出知史、佐藤武史、和田拓也、古川清 (長岡技科大・生物系・糖鎖生命工学)
- P-024 GPI アンカー型糖タンパク質 NB-2 がシナプス形成に関与する分子機構の解析
 ○霜田 靖、小関文哉、伊藤将来、長田恭平、中野悟司、渡邊和忠 (長岡技科大・生物)
- P-025 固体・液体培養における *Trichoderma reesei* の遺伝子発現挙動
 ○雪真弘¹、森一樹²、志田洋介¹、久原哲²、森川康¹、小笠原渉¹ (¹長岡技科大・生物系、²九大農学)
- P-026 糸状菌のセルラーゼ高生産変異株の比較ゲノム解析
 ○山口香織¹、新田美貴子¹、志田洋介¹、森一樹²、平川秀樹²、久原哲²、小笠原渉¹ (¹長岡技科大・生物、²九大・生資源)
- P-027 糸状菌のセルラーゼ生産に関与するトランスポーターの探索と機能解析
 ○日下秀行、古川隆紀、深谷英嗣、志田洋介、小笠原渉 (長岡技科大・生物)
- P-028 糸状菌 β -グルコシダーゼの生理学的役割の解明
 ○齋藤勇司、吉川晃一、落合伸廣、小松光子、中澤光、岡田宏文 (長岡技科大・生物系・酵素工学)
- P-029 糸状菌由来 7 種エンドグルカナナーゼの酵素学的性質
 ○小松光子、齋藤勇司、吉村聖也、長野まどか、岡田宏文 (長岡技科大・生物系・酵素工学)
- P-030 D- および L-isofagomine 類の合成とグリコシダーゼ阻害活性
 ○加藤敦¹、宮内沙織¹、中川進平¹、足立伊佐雄¹、中込泉²、広野修一²、吉村祐一³、高畑廣紀³ (¹富山大病院薬、²北里大薬、³東北薬大)
- P-031 N-アセチルノイラミン酸のアニオン部位近傍に光反応基を有する光プローブの開発
 ○星野直人、山根まどか、友廣岳則、畑中保丸 (富山大院医学薬学研究部)
- P-032 6 位修飾カードランの酸加水分解による各種グルコース誘導体の大量合成
 ○阿部春香¹²、長谷川輝明²³ (¹東洋大院生命、²東洋大バイオナノ、³東洋大生命)
- P-033 β -1,2-フルクタンを主鎖とする新規糖鎖高分子の開発
 ○伊澤和美²³、長谷川輝明¹³ (¹東洋大・生命、²東洋大院・生命、³東洋大・バイオナノ)
- P-034 IgM 抗体の IgG 化と Fab 5 量体化
 ○高柳淳¹²、奈良清光³、橋本康弘³、清水信義¹ (¹慶應大・先端研 GSP セ、²慶應大・医・分子生物、³福島県立医大・生化学)
- P-035 *Pseudomonas syringae* の異なる病原型間でのリボ多糖構造の比較
 ○知久和寛¹、山本雅信¹、亀山眞由美¹、小野裕嗣¹、吉田充¹、田口富美子²、一瀬勇規²、石井忠¹ (¹農研機構・食総研、²岡山大院自科)
- P-036 植物イソアミラーゼの分子量とサブユニット構造の比較解析
 ○菱沼理恵¹、一ノ瀬靖則²、小前幸三²、乙部千雅子¹² (¹筑波大院・生命環境科学、²(独)農研機構・作物研)
- P-037 硫酸化グリコサミノグリカンが規定する生理的濃度の内分泌因子によるシグナル伝達
 ○中村真男¹²、上原ゆり子²、浅田眞弘²、本田絵美²、永井尚子³⁴、木全弘治³、鈴木理¹²、今村亨² (¹茨城大、²産総研・バイオメディカル・シグナル分子、³愛知医科大先端医学医療研究拠点、⁴愛知医科大分子医科学研)
- P-038 局在表面プラズモン共鳴における金微粒子のサイズ効果と検出感度
 ○永塚健宏¹、瀬戸康雄²、斉藤真人³、民谷栄一³、西田芳弘⁴、鶴沢浩隆¹ (¹産総研・バイオメディカル、²科警研、³阪大院工、⁴千葉大園芸)
- P-039 分子マトリクス電気泳動法 (SMME) により分離したムチンの糖鎖プロファイル比較法
 松野裕樹¹、○董偉傑¹、横山勢也²、米澤傑²、成松久¹、亀山昭彦¹ (¹産総研・糖鎖医セ、²鹿児島大院・医歯)
- P-040 ムチンの免疫染色を目的とした分子マトリクス電気泳動法 (SMME) の改良
 松野裕樹¹、董偉傑¹、横山勢也²、米澤傑²、斉藤拓朗³、後藤満一³、成松久¹、○亀山昭彦¹ (¹産総研・糖鎖医セ、²鹿児島大院・医歯学総合研究科、³福島医大)
- P-041 日本糖鎖科学コンソーシアム・データベースの次なる展開
 ○鹿内俊秀、鈴木芳典、藤田典昭、文紅玲、前田真砂子、澤木弘道、梶裕之、成松久 (産総研・糖鎖医セ)
- P-042 糖脂質ポリラクトサミン合成酵素 *B3gnt5* 遺伝子欠損マウスにおける免疫機能異常
 ○母谷内晶¹、小園裕子¹、池原譲¹、伊藤浩美¹、鈴木奈美¹、角田由紀¹、阿部純恵¹、佐藤隆¹、中村京子²、鈴木實²、

- 合田初美³、伊東信³、工藤崇⁴、高橋智⁴、成松久¹ (¹産総研・糖鎖医セ、²理研・フロンティア、³九州大・大学院・農、⁴筑波大・人間総合・基礎医・解剖学発生学)
- P-043 チオグリコシドから1-フッ化糖への効率的変換
 ○鈴木克彦^{1,2}、伊藤幸成^{1,2}、蟹江治^{1,2} (¹JST ERATO、²理研・基幹研)
- P-044 糖鎖構造解析を応用した質量分析法による不斉中心の立体化学決定
 ○塩入優紀^{1,3}、伊藤幸成^{2,3}、蟹江治^{1,2,3} (¹東工大院・生命理工、²JST ERATO、³理研・基幹研)
- P-045 nanoLC-FL-MS を用いた細胞内糖脂質合成過程の解明へ向けて
 ○大黒周作^{1,2}、大竹敦子^{1,2}、鈴木克彦^{1,2}、小林まり子¹、伊藤幸成^{1,2}、蟹江治^{1,2} (¹JST ERATO、²理研・基幹研)
- P-046 細胞内におけるスフィンゴ糖脂質合成の時空間分解極微量定性定量解析
 ○大竹敦^{1,2}、大黒周作^{1,2}、鈴木克彦^{1,2}、小林まり子¹、福崎英一郎³、伊藤幸成^{1,2}、蟹江治^{1,2} (¹JST ERATO、²理研・基幹研、³阪大院・工)
- P-047 結核菌細胞壁多糖アラビナンの合成研究
 ○石渡明弘¹、伊藤幸成^{1,2} (¹理研・基幹研、²JST ERATO)
- P-048 UGGT の機能解明を指向したトリマンノース誘導体の合成
 ○八須匡和¹、武田陽一¹、伊藤幸成^{1,2} (¹JST ERATO、²理研・基幹研)
- P-049 マレクチン及び変異体を用いた基質特異性解析及びグルコシダーゼ II 活性に与える影響
 ○武田陽一¹、瀬古玲¹、松尾一郎²、戸谷希一郎³、伊藤幸成^{1,4} (¹JST ERATO、²群馬大工、³成蹊大理工、⁴理研・基幹研)
- P-050 *Echinococcus* 属由来糖タンパク質の糖鎖部分に関する合成研究 (3)
 ○小泉晶彦¹、大鐘麻美¹、羽田紀康¹、木内文之¹、山野公明² (¹慶應大薬、²北海道立衛研)
- P-051 UGGT1 のフォールディングセンサー機能発現システムの解析
 ○金森審子¹、武田陽一¹、瀬古玲¹、伊藤幸成^{1,2} (¹JST ERATO、²理研・基幹研)
- P-052 麹菌における小胞体関連分解因子 AoHtm1 の生化学的解析
 ○菊間隆志¹、丸山潤一²、北本勝ひこ²、伊藤幸成^{1,3} (¹理研・基幹研、²東大院・農生科、³JST ERATO)
- P-053 ヒト ZG16p と ZG16b は Jacalin と同様の β -プリズム構造を有する
 ○金川真由美¹、佐藤匡史¹、池田明美¹、中野佑妃子²、矢木宏和⁴、加藤晃一^{3,4,5}、相川京子^{2,3}、山口芳樹¹ (¹理研・ASI・糖鎖構造、²お茶大・院・人間文化創成科学、³お茶大・糖鎖科学教育研究セ、⁴名市大・院薬、⁵自然科学研究機構・統合バイオ)
- P-054 理研糖鎖コンフォメーションデータベースを用いたリガンド糖鎖結合部位の特徴抽出
 ○加藤雅樹、山口芳樹 (理研・基幹研・糖鎖構造)
- P-055 哺乳動物細胞における PNGase 非依存的な遊離糖鎖の生成機構
 ○原田陽一郎、鈴木匡 (理研・システム糖鎖生物学・糖鎖代謝学)
- P-056 O 型糖鎖に由来する遊離糖鎖の解析—新規エンド-O-グリカナラーゼの同定に向けて—
 ○平山弘人、鈴木匡 (理研・基幹研・糖鎖代謝学)
- P-057 シアリル $\alpha(2 \rightarrow 6)$ ガラクトース担持ポリマーライブラリーの構築と活性評価
 ○吉田哲也¹、小山哲夫¹、幡野健¹、鈴木康夫²、松岡浩司¹ (¹埼玉大院・理工、²中部大・生命健康科学)
- P-058 FRET 感受性高分子の合成研究 (V) : マルトトリオース誘導体の合成
 ○荒井啓克、小山哲夫、幡野健、松岡浩司 (埼玉大院・理工)
- P-059 マレクチンを介した G2M9 依存的な $\alpha 1$ アンチトリプシンの品質管理
 ○陳陽¹、胡丹¹、矢部力朗²、館野浩章²、秦盛エイ¹、松本直樹¹、平林淳²、山本一夫¹ (¹東大・新領域、²産総研・糖鎖医セ)
- P-060 リン原子に立体選択的の化学修飾を施した α -糖 1-リン酸誘導体の合成
 ○野呂美穂子、藤田正一、和田猛 (東大院新領域)
- P-061 光分解による新規低分子ヘパリンの調製
 ○東恭平¹、細山沙織¹、大野麻美¹、増子小夜香²、Bo Yang²、Eric Sterner²、Zhenyu Wang²、Robert J. Linhardt²、戸井田敏彦¹ (¹千葉大院薬学研究院、²レンセリア工科大)
- P-062 光照射による 2-ニトロベンジル-C-グルコシドの糖ラクトン誘導体への変換
 ○桑折道済、木村拓馬、篠田義弘、谷口竜王、中平隆幸 (千葉大院工)
- P-063 リンパ球表面抗原 CD38 の四量体化を反映した N 型糖鎖プロセッシング
 ○横山三紀¹、新野睦子²、寺澤和恵¹、橋井則貴³、蛭田葉子³、川崎ナナ³、脇山素明²、白水美香子²、横山茂之^{2,4}、柳下正樹¹ (¹東医歯大・硬生化学、²理研・生命分子システム、³国立医薬品食品衛生研・生物薬品、⁴東大院・理)
- P-064 イヌ回虫由来糖タンパク質の糖鎖部分に関する合成研究 (3)
 ○羽田紀康、小泉晶彦、土屋貴史、木内文之 (慶應大薬)

- P-065 細胞を用いて生産した糖鎖を有する高分子の合成
 ○木村珠美¹、宮村一夫¹、粕谷マリアカルメリタ²、畑中研一² (¹東理大総合化学研究科、²東大生産技術研)
- P-066 顆粒内ヘパリンの切断酵素ヘパラーゼはマスト細胞の機能を調節する
 ○東伸昭¹、小金裕介¹、志田拓顕¹、土川泰明¹、中島元夫²、入村達郎¹ (¹東大院薬、²SBI アラプロモ (株))
- P-067 糖鎖-タンパク質認識に関する新規類似性尺度の構築
 ○伊藤真和吏^{1,2}、伊東純一^{1,2}、久保山哲二³、富井健太郎^{1,2} (¹東大院情報生命科学、²産総研・臨海副都心セ、³学習院大学計算機センター)
- P-068 糖誘導体を利用したバクテリア表面化学修飾法
 ○上村祐介¹、森崎千珠²、奥村渚¹、鹿田碧子¹、貞許礼子^{1,3} (¹お茶大アカデミック・プロダクション、²お茶大院人間文化創成科学、³お茶大糖鎖科学教育研究セ)
- P-069 分子動力学法による HIV-1 糖鎖認識抗体 2G12 と糖鎖間の相互作用解析
 ○小山裕佳¹、能登香²、鷹野景子^{1,3} (¹お茶大院人間文化、²北里大・一般教育部、³お茶大糖鎖科学教育研究セ)
- P-070 組織修復時におけるビトロネクチンの糖鎖変化がマウス線維芽細胞の活性化に及ぼす影響
 ○田邊美音、宮本泰則、佐野琴音、小川温子 (お茶大院・人間文化創成科学)
- P-071 非硫酸化シュードプロテオグリカンは硫酸化多糖とは異なる新規抗 HIV-1 活性を示す
 ○狩野文枝¹、中村公亮¹、大槻貴博²、星野洪郎²、大上厚志²、清水宣明²、中村孝子²、坂上ひろみ¹、小川温子^{1,3} (¹お茶大院・人間文化創成科学、²群馬大院・医学系、³糖鎖科学教育研究セ)
- P-072 POMGnT1 の基質特異性の解析
 赤阪啓子¹、○萬谷博¹、水野真盛²、稲津敏行³、遠藤玉夫¹ (¹都健康長寿医療セ、²野口研、³東海大工)
- P-073 6-アミノニコチンアミドによる N-結合型糖鎖付加への影響
 ○佐藤志保、島村悠、村山明日香、飯村和幸、殿塚隆史、西河淳 (農工大・院農・応生化)
- P-074 質量分析に有効な糖ペプチド及び糖鎖のピレン誘導体化法
 ○中村紀夫¹、西風隆司²、神明博²、東ヶ崎文生²、杉本一路²、天野純子^{1,2} (¹野口研 GD プロジェクト研究室、²野口研・糖鎖生物)
- P-075 N-結合型糖鎖付加部位の周辺配列の改変による糖鎖付加効率への影響
 ○高島晶、天野純子 (野口研・糖鎖生物)
- P-076 糖鎖合成統合データベースの開発
 ○山田一作¹、本庄秀之¹、藤田典昭²、鈴木芳典²、鹿内俊秀²、水野真盛¹、成松久² (¹野口研・糖鎖有機、²産総研・糖鎖医セ)
- P-077 フェイズ・バニング法によるプロモ糖合成の開発
 ○戸治野真美、水野真盛 (野口研・糖鎖有機)
- P-078 消化管ムチンの特異的に認識する細菌由来 CBM の糖鎖結合特異性
 ○藤田雅也、土田明子、森昌子、野田匠、後藤浩太郎、大隅賢二、弘瀬友理子、水野真盛 (野口研)
- P-079 腸内細菌由来 α -N-Acetylglucosaminidase と糖鎖結合モジュール (CBM) のキメラ酵素の特性
 ○土田明子¹、藤田雅也¹、森昌子¹、後藤浩太郎¹、弘瀬友理子¹、大隅賢二¹、芦田久²、水野真盛¹ (¹野口研・糖鎖有機、²京大院・生命)
- P-080 ヒアルロン酸環境場がアルドール反応の立体選択性に与える影響
 ○石川貴士¹、則竹博人¹、丑田公規²、戸谷希一郎¹ (¹成蹊大理工、²北里大理)
- P-081 共通単糖ユニットを用いた小胞体型オリゴ糖の合成研究
 ○篠田佑樹¹、岩本将吾¹、松島光¹、三郎丸みゆき²、太田尚志²、松崎祐二²、戸谷希一郎¹ (¹成蹊大理工、²東京化成工業糖鎖技術部)
- P-082 クラゲムチンによって加速される糖加水分解反応
 ○折原大介¹、中村龍之介¹、丑田公規²、戸谷希一郎¹ (¹成蹊大理工、²北里大理)
- P-083 弱い結合のレクチンに対する磁気ビーズによるマイルドエンリッチ法
 ○宮澤栄夏¹、伊藤幸成^{2,3}、戸谷希一郎¹ (¹成蹊大理工、²理研基幹研、³ERATO-JST)
- P-084 PAPS 輸送体のヒト大腸癌における発現と機能
 ○一宮智美¹、神山伸¹、池原譲²、中森正二³、中村充⁴、中山文明⁵、入村達郎⁶、中西速夫⁷、渡邊昌彦⁸、成松久²、西原祥子¹ (¹創価大、²産総研、³大阪医療セ、⁴北里大、⁵放医研、⁶東大、⁷愛知がんセ、⁸慶応大)
- P-085 糖鎖構造解析のウェブリソース開発
 ○森高明、藤田晶大、木下聖子 (創価大工・生命情報工学)
- P-086 ショウジョウバエの糖鎖関連遺伝子データベースの開発
 ○荒木淳一、木下聖子 (創価大)
- P-087 糖鎖が認識されるパターンを予測するツール開発

- 細田正恵、木下聖子 (創価大・工)
- P-088 カーネル法を用いたバイオマーカー予測のためのツール開発
○阿久根幸恵、木下聖子 (創価大工・生命情報工学)
- P-089 RINGSにおける糖鎖関連ワークフローの自動構築
○国分杏奈、木下聖子 (創価大)
- P-090 グリコサミノグリカンデータベースの開発
○河東田武夫¹、木下聖子¹、ジョセフ・ザイア² (¹創価大工、²ボストン大医)
- P-091 乳癌細胞産生ムチン含有 Sia α 2-8Sia 糖鎖構造の合成と癌悪性度との関連性
○福島慶子¹、佐藤ちひろ²、北島健²、日野田裕治³、山下克子¹ (¹東工大・イノベーション研究推進体、²名大・理、³山口大・医)
- P-092 糖-ランタニドナノ粒子複合体とアミノレブリン酸を併用した近赤外線力学治療法
○湯浅英哉¹、渡瀬寛也¹、小倉俊一郎¹、萩谷祐一郎^{1,2}、高橋究³、井上克司³、田中徹³ (¹東工大生命理工、²JSPS 特別研究員、³(株)SBI アラプロモ)
- P-093 2種類の異なるイネキチン受容体とその相互作用解析
○賀来華江、高見澤大介、清水健雄、佐藤洋輔、早船真広、渋谷直人 (明治大農・生命科学)
- P-094 脱水縮合型グリコシル化を応用したトレハロース型二糖の合成における立体選択性の検討
○八木隆宏、松尾裕美、森島直彦 (北里大看護)
- P-095 分子動力学およびフラグメント分子軌道計算によるシグレック7の糖鎖認識能の比較
○能登香¹、鷹野景子^{2,3} (¹北里大・一般教育部、²お茶大院人間文化創成科学、³お茶大糖鎖科学教育研究セ)
- P-096 消化管糖脂質の構造と局在
○鈴木明身、佐野邦広、土屋公平、平野真 (東海大糖鎖研)
- P-097 エンド酵素が認識する擬似糖アミノ酸の調製とその応用
○苫米地祐輔¹、稲津敏行^{1,2} (¹東海大・糖鎖科学研、²東海大・工)
- P-098 卵白アルブミンを原料とする糖鎖アスパラギン誘導体調製法の再検討
○畑智也¹、山本英明¹、苫米地祐輔²、羽田勝二¹、稲津敏行^{1,2} (¹東海大工、²東海大糖鎖科学研)
- P-099 自己集積型 C-グリコシドの糖提示担体としての評価
○松田翔、稲津敏行 (東海大工、東海大糖鎖科学研)
- P-100 セグメント縮合を用いた糖タンパク質の化学合成
○朝比奈雄也^{1,2}、田中洋成¹、片山秀和¹、神鳥成弘³、北條裕信^{1,2} (¹東海大・工・生命、²東海大・糖鎖研、³香川大・総合生命科学研究セ)
- P-101 ST6Gal-I N-glycan の役割の解析
○松本卓巳²、吉村武²、池田一裕²、辻崇一² (²東海大・糖鎖研、²生理研・分子神経生理)
- P-102 BmNPV バクミドシステムを用いたカイコでの哺乳類由来糖転移酵素の発現
○森大地¹、尾形慎²、碓氷泰市^{1,2}、朴龍洙² (¹静大農・応生化、²静岡大・創科技院)
- P-103 ニ分岐二本鎖配糖体の設計に基づく ECA レクチンとの結合親和性評価
○田見祐一¹、杉山尚弘¹、中馬康志¹、尾形慎²、碓氷泰市^{1,2} (¹静岡大農・応生化、²静岡大・創科技院)
- P-104 デングウイルス NS1 タンパク質糖鎖の性状解析
○江川且起¹、左一八¹、森田公一²、鈴木隆¹ (¹静岡県大院・薬・生化学、グローバル COE、²長崎大・熱医研・ウイルス)
- P-105 イメージングマスマクトロメトリーによる糖脂質の局在解析
○井上菜穂子¹、早坂孝宏¹、Kessiri Kongmanas²、Suraj Kadunganattil²、Nongnuj Tanphaichitr²、只野・有富桂子³、久樹晴美⁴、瀬藤光利¹ (¹浜松医大・医・解剖学細胞生物学分野、²Obstetrics and Gynecology, University of Ottawa、³日本薬大・臨床薬学教育セ、⁴帝京大医・生化学)
- P-106 微量サンプルからの N 結合型糖鎖構造解析法
小池崇子、吉村武、山田元、○池田一裕 (自然科学研究機構・生理研・分子神経生理)
- P-107 ガングリオシドクラスターが誘起するアミロイド β 重合の開始機構の解明
○矢木真穂^{1,2}、加藤晃一^{1,2} (¹自然科学研究機構・岡崎統合バイオ、²名市大・院薬)
- P-108 末梢神経髄鞘の主要構成蛋白質 myelin protein zero の糖鎖構造
○吉村武¹、鳴海麻衣¹、矢木宏和²、北村邦男³、Jan Sedzik⁴、加藤晃一^{2,5}、池田一裕¹ (¹生理研・分子神経生理、²名市大薬、³埼玉医大保健医療学部、⁴KTH Royal Institute of Technology、⁵分子科学研究所岡崎統合バイオ)
- P-109 硫酸基を保護した GalNAc(4SO₄) 誘導体の合成
○鈴木紘平、羽瀧脩躬、中野博文 (愛知教大・分子生命)
- P-110 コンドロイチン硫酸オリゴ糖および多糖体の酵素合成
○塩込達政^{1,2}、伊藤浩美³、千葉美恵¹、瀬戸山由佳¹、堤内要²、渡辺秀人¹、成松久³、木全弘治¹、杉浦信夫¹

(¹ 愛知医大・分医研、² 中部大・応用生物、³ 産総研・糖鎖医セ)

- P-111 バキュロウイルス由来の新奇なコンドロイチナーゼ
杉浦信夫¹、○瀬戸山由佳¹、千葉美恵¹、木全弘治²、渡辺秀人¹ (¹ 愛知医大・分医研、² 愛知医大・先端拠点)
- P-112 レクチンによるブドウ球菌属の識別
○竹内英明¹、今村幸治¹、平山真²、堀貫治² (¹ 株式会社グライエンス、² 広島大・生物圏科学研究科)
- P-113 魚類 CMP- シアル酸合成酵素の性質比較
藤田明子^{1,2}、○呉迪^{1,3}、安川裕子^{1,3}、佐藤ちひろ^{1,3}、北島健^{1,2,3} (¹ 名大・生物機能セ、² 名大・GCOE システム生命科学、³ 名大院・生命農学)
- P-114 表面プラズモン共鳴法を用いた神経作用因子とポリシアル化 NCAM との相互作用解析
○羽根正弥^{1,2}、小野明香^{1,2}、住田瑞季^{1,2}、北島健^{1,2}、佐藤ちひろ^{1,2} (¹ 名大・生物機能セ、² 名大院・生命農学)
- P-115 メダカ卵表層糖タンパク質 hyosoporphin の糖鎖の発生における機能解析
○丸山恵実^{1,2}、佐藤ちひろ^{1,2}、足立朋子¹、橋本寿史¹、日比正彦¹、北島健^{1,2} (¹ 名大・生物機能セ、² 名大院・生命農学)
- P-116 シアル酸ピルビン酸リアーゼによる細胞内シアル酸量の制御
○小林隆史^{1,2}、佐藤ちひろ^{1,2}、北島健^{1,2} (¹ 名大・生物機能セ、² 名大院・生命農学)
- P-117 分子モデリングによって推測された Siglec-7 の新規シアル酸認識領域の存在証明
小崎仁美^{1,2}、○安田優^{1,2}、山川奈緒^{1,3}、田中浩士⁴、高橋孝志⁴、Paul Crocker⁵、北島健^{1,2}、佐藤ちひろ^{1,2} (¹ 名大・生物機能開発利用セ、² 名大・生命農学、³ 名大・JSPS 頭脳循環、⁴ 東工大院・理工、⁵ Univ. Dundee)
- P-118 ウニ初期胚マイクロドメインに局在するユニークな糖鎖構造とその機能
○萩原尚文^{1,2}、中村奈央子^{1,2}、Estelle Garenaux²、佐藤ちひろ^{1,2}、鳥山優³、北島健^{1,2} (¹ 名大院・生命農学、² 名大・生物機能セ、³ 静岡大・農)
- P-119 メダカ初期胚生体膜マイクロドメインに局在するルイス X- 含有糖タンパク質の構造解析
○チャン・ランイ^{1,3}、中村忠史^{1,2}、足立朋子¹、リン・チアウェイ³、クー・ケイフーイ³、佐藤ちひろ^{1,2}、北島健^{1,2} (¹ 名大・生物機能セ、² 名大院・生命農学、³ 台湾中央研究院・生物化学研究所)
- P-120 pp-GalNAc-T13 は trimeric Tn 抗原を形成し癌転移を亢進させる
○松本康之¹、章青²、浜村和紀¹、秋田薫³、中田博³、徳田典代^{1,2}、土田明子⁴、岡島徹也¹、古川圭子²、浦野健⁵、古川鋼一¹ (¹ 名大・院医・生化学第二、² 中部大・生命健康・生物医学、³ 京都産業大・生物・生物工学、⁴ 野口研、⁵ 島根大・医・生化学)
- P-121 GM3-only マウスの中樞神経系で高発現する Wisp2/CCN5 の機能解析
○大川祐樹¹、大海雄介¹、田島織絵²、金子慶¹、岩沢太司¹、山内祥生¹、古川圭子²、古川鋼一¹ (¹ 名大・院医・分子細胞化学、² 中部大・生命健康科学・生命医科学)
- P-122 GD3 発現によるメラノーマの悪性形質増強機構：Neogenin の局在と機能解析
○金子慶¹、大川祐樹¹、大海雄介¹、橋本登¹、山内祥生¹、小谷典弘²、本家孝一²、古川圭子³、古川鋼一¹ (¹ 名大院医・分子細胞化学、² 高知大・院医・生化学、³ 中部大・生命健康科学・生命医科学)
- P-123 中樞神経のネットワーク再編成を制御するケラタン硫酸プロテオグリカンの役割
○大籠友博、門松健治 (名大院・医・生物化学)
- P-124 分岐鎖を有する β- グルカンオリゴ糖の合成と酵素による加水分解特性評価
○宮川淳¹、田邊陽一²、織田昌幸²、山村初¹ (名工大院工、² 京都府大院生命環境)
- P-125 腸管上皮細胞表面ヘパリン硫酸の役割
野田侑里¹、○西田光貴²、金丸義敬³、矢部富雄³ (¹ 岐阜大院・応生科・資源生命、² 岐阜大院・連農・生物資源、³ 岐阜大・応生科・応用生命)
- P-126 ヘパリン糖鎖を特異的に認識するペプチドによる神経突起伸長阻害作用
○矢部富雄¹、矢部(細田)律子^{1,2}、金丸義敬¹、木曾真^{1,2} (¹ 岐阜大・応生科、² 京都大・物質・細胞統合システム拠点 (iCeMS))
- P-127 蛍光 GM3、GM1 プローブの合成と 1 分子追跡実験によるラフト分配特性の解析
○河村奈緒子^{1,2}、安藤弘宗^{1,2}、池田泰祐²、鈴木健一^{2,3}、石田秀治¹、楠見明弘²、木曾真^{1,2} (¹ 岐阜大・応用生物、² 京都大・iCeMS、³ 科技振・PREST)
- P-128 環状グルコシルセラミド受容体を用いたガングリオシド GalNAc-GM1b の全合成
○小西美紅¹、藤川紘樹^{1,2}、中島慎也^{1,2}、河村奈緒子^{1,2}、安藤弘宗^{1,2}、石田秀治¹、木曾真^{1,2} (¹ 岐阜大・応用生物、² 京都大・iCeMS)
- P-129 糖鎖多様性を示すカイコ *Bombyx mori* 蛹の糖脂質構造の解析
○橋本恭平¹、鈴木孝枝¹、小島寿夫²、伊藤将弘³、杉田陸海¹、糸乗前¹ (¹ 滋賀大・教育・化学、² 東海大・糖鎖研、³ 立命館大・生命科学・生命情報学)
- P-130 保存可能なグリコシルスルホニウムイオンを用いたグリコシル化反応

- 野上敏材¹、三枝善博¹、眞鍋史乃²、伊藤幸成^{2,3}、吉田潤一¹(¹京大院工、²理研・基幹研、³ERATO-JST)
- P-131 GlcAT-P の酵素活性における flexible loop の役割
○岡昌吾¹、中川直樹¹、森田一平²、木塚康彦²(¹京大・医・人間健康、²京大・薬・生体分子)
- P-132 認識タンパク質探索・解析を目指したペプチドグリカン・フラグメントライブラリ構築
○王寧、黄正元、藤本ゆかり、深瀬浩一(阪大院理)
- P-133 N5-Ac シアル酸糖供与体を用いた実践的 α-シアリル化反応
○内梨洋介、長崎政裕、周家州、田中克典、深瀬浩一(阪大院理)
- P-134 複合糖質合成を指向した新規固相合成法の開発
○角永悠一郎、藤本ゆかり、深瀬浩一(阪大院理)
- P-135 Boc 固相合成法を用いたシアリル糖ペプチドチオエステル体の新規調製法
○村上真淑、岡本亮、梶原康宏(阪大・院理・有機生物化学)
- P-136 卵黄由来ハイマンノース型糖鎖と Boc 法を用いた糖ペプチドチオエステルの効率的合成
○牧村裕¹、木内達人²、和泉雅之¹、Dedola Simone¹、伊藤幸成^{1,3}、梶原康宏^{1,2}(¹JST ERATO、²阪大理、³理研基幹研)
- P-137 ハイマンノース型および複合型糖鎖を有する均一な糖タンパク質の合成
○Simone Dedola¹、牧村裕¹、和泉雅之¹、伊藤幸成^{1,2}、梶原康宏^{1,3}(¹JST ERATO、²理研基幹研、³阪大院理)
- P-138 ペクチン生合成酵素の精製における塩基性アミノ酸の利用
○荒川隼至、上垣真理、石水毅(阪大・院理)
- P-139 細胞外遊離 N-グリコシルノイラミン酸のヒト培養癌細胞への取り込み
○橋本浩志¹、仲西曉良¹、木下充弘¹、鈴木匡²、早川堯夫³、掛樋一晃¹(¹近畿大・薬、²理研・基幹研・システム糖鎖生物学、³近畿大・薬総研)
- P-140 ヒト胃癌細胞中高フコシル化糖タンパク質のグライコプロテオーム解析
○原沙弥香¹、山田佳太^{1,2}、三ツ井洋輔¹、木下充弘¹、早川堯夫³、掛樋一晃¹(¹近畿大・薬、²香川大・医、³近畿大・薬総研)
- P-141 ヒト胃癌由来 MKN45 細胞は糖タンパク質由来の遊離糖鎖を細胞外へ分泌する
○神末和哉¹、大河原周平¹、山田佳太^{1,2}、岩塚欣也¹、木下充弘¹、早川堯夫³、掛樋一晃¹(¹近畿大・薬、²香川大・医、³近畿大・薬総研)
- P-142 レクチンマイクロアレイによる糖脂質分析プロトコルの開発と大腸癌臨床検体の分析
○武石俊作¹、合田初美²、岩井覚²、沖野望²、川内暢子³、小島直也³、宮本泰豪⁴、伊東信²(¹株式会社 GP バイオサイエンス、²九大院農学研究院生命機能科学、³東海大糖鎖科学研、⁴大阪成人病セ免疫学部門)
- P-143 細菌表層含有デオキシ糖の合成
○松村勲、田村裕、古池哲也(関西大学化学生命工学部)
- P-144 イオン液体を用いた糖鎖合成法の開発
○平井智也、田村裕、古池哲也(関西大学化学生命工学部)
- P-145 BxPC3 細胞の小胞体ストレスとインテグリンの細胞内蓄積
○井内陽子、池田豊、池崎みどり、井原義人(和歌山県立医大・医・生化)
- P-146 O-マンノシルリン酸化により調節されるジストログリカンの組織選択的ラミニン結合能
○久我敦¹、金川基¹、首藤篤史¹、遠藤玉夫²、和田芳直³、戸田達史¹(¹神戸大医・神経内科・分子脳科学、²都老人研、³大阪府立母子保健総合医療センター研究所)
- P-147 糖鎖アレイの開発と応用
○高田渉¹、阿部皓基¹、松下隆彦²、西村紳一郎²(¹住友ベークライト株式会社、²北大・先端生命科学研究院)
- P-148 糖コレステロールの細胞増殖抑制作用と既存抗癌剤との併用効果
○西村東洋¹、浅尾高行²、桑野博行²、矢澤伸^{1,2}(¹大塚製薬・徳島研、²群馬大・院・病態総合外科)
- P-149 MSCs を用いた GM2 ガングリオシドーシス対する *ex vivo* 遺伝子治療法の開発
○辻大輔、難波建多郎、南條遥、伊藤孝司(徳島大院ヘルスバイオサイエンス研究部・創薬生命工学分野)
- P-150 HRP 遺伝子発現系を用いた新規 EMARS 法の開発
○山口亜利沙¹、小谷典弘²、本家孝一^{1,2}(¹高知大・医・糖セ、²高知大・医・先端医療セ)
- P-151 O-グリカナゼと core1 糖鎖複合体の X 線結晶構造解析
○合田初美^{1,2}、角田佳充¹、伊藤浩美^{2,3}、沖野望¹、成松久^{2,3}、伊東信^{1,2,4}(¹九大院農、²NEDO、³産総研糖鎖医セ、⁴九大バイオアーク)
- P-152 アルギン酸オリゴマーの活性酸素消去作用に関する構造活性相関に関する研究
廣木太一¹、竹下哲史²、山口健一¹、○小田達也¹(¹長崎大学・水、²長崎大学・地共セ)
- P-153 糖鎖固定化 CdTe/CdS ナノ粒子の合成と応用
○新地浩之¹、中川奨¹、望月衛子²、桑畑進²、若尾雅広¹、隅田泰生¹(¹鹿児島大・院理工、²阪大院・工)

- P-154 糖鎖固定化金ナノ粒子を用いた鯉ヘルペスウイルスの高感度検出
○張旭^{1,2}、小林健一郎³、的山央人³、兵藤則行³、若尾雅広¹、隅田泰生^{1,2} (¹鹿児島大・院理工、²ステイクスバイオテック、³新潟県内水面水産試験場)
- P-155 イズロン酸を含むヘパラン硫酸部分二糖構造ライブラリーの構築
○春山まみ¹、若尾雅広²、隅田泰生^{1,2} ((株)ステイクスバイオテック、²鹿児島大・院理工)
- P-156 デルマタン硫酸-E二糖部分構造に関する合成研究
○杜若祐平、市来幸子、若尾雅広、隅田泰生 (鹿児島大・院理工)
- P-157 自然免疫を制御する糖鎖修飾関連分子 Senju の解析
山本(日野)美紀^{1,2}、芝野孝子²、栗野若枝²、岡野栄之¹、○後藤聡^{1,2} (¹慶應大・医・生理、²三菱生命研・糖鎖制御)
- P-158 マベガイ由来ジャッカリン関連レクチンの真珠バイオミネラリーゼーション機構の解析
佐藤紗保¹、佐藤理恵¹、鹿内之寛¹、永沼孝子^{1,2}、村本光二¹、尾定 誠^{2,3}、吉見享祐^{2,4}、○小川智久^{1,2} (¹東北大・院生命、²東北大・学際七、³東北大・院農、⁴東北大・院環境)
- P-159 脳血管内皮細胞が発現するアミロイド前駆体タンパク質(APP)770 の解析
○立田由里子¹、北爪しのぶ¹、加藤雅樹²、山口芳樹²、本多たかし³、橋本康弘³、和田芳直⁴、斉藤貴志⁵、岩田修永⁵、西道隆臣⁵、谷口直之¹ (¹理研・基幹研・疾患糖鎖、²理研・基幹研・糖鎖構造、³福島県立医科大学、⁴大阪府立母子保健総合医療センター、⁵理研・脳研・神経蛋白制御)
- P-160 PECAM のホモフィリックな相互作用にシアル酸が果たす役割
○今牧理恵¹、北爪しのぶ¹、小川加寿子¹、石田秀治²、安藤弘宗²、木曾真²、谷口直之¹ (¹理研・基幹研・システム糖鎖生物学・疾患糖鎖、²岐阜大・応用生物科学部)
- P-161 合成及び天然ガングリオシド類の製造法の改良
○中塚進一、藤野和孝、沢田義治、石野暢好、松本恵実 (長良サイエンス (株))

JSCR Newsletter (日本糖質学会会報) Vol.15, No.1

2011年6月15日 発行

編集兼発行 日本糖質学会

会長 稲津敏行

〒232-0005 横浜市南区白金町2-28-40A

学進出版学術部内

Tel. 045-309-9863 Fax. 045-309-9864

E-mail: jscr@gak.jp

JSCR Newsletter 編集委員会

遠藤 玉夫 (委員長)

北島 健

URL: <http://www.gak.jp/jscr/>